



公式 HP



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター

『おしゃれ着』の定義ってなんだろう？



『おしゃれ着』と聞いてどのようなものを思い浮かべますか？お出かけの時に着るお気に入りの洋服や、特別な場面で着るものをおしゃれ着と位置づけている人が多いのではないでしょうか。洗濯をする上の『おしゃれ着』というのは『デリケートな素材でできいて、ふつうに洗濯をすると傷んでしまう衣類』のこと。繊細で傷みやすいので、型崩れ・縮み・色落ち・毛羽立ちなどに気をつけて洗う必要があるので、おしゃれ着用の洗剤を使って洗濯機のソフトコース（※メーカーによって名称いろいろ）などの弱水流コースで洗濯をする、または手洗いで洗濯をする衣類のことを指します。シルク・カシミヤ・アンゴラなどは一般的にデリケートなイメージが強いので、おしゃれ着に分類されることがわかりやすいですね。ふだん着に使用されることも多くなっているレーヨン・ナイロン・ポリウレタンコーティングなども、実は「おしゃれ着」として扱わなければならないデリケートなもの。みなさんが標準コースで洗濯をしている衣類の中にも、本当はおしゃれ着として扱うべきものがたくさん潜んでいるかもしれません。「ふつうに洗っただけなのに、おかしくなっちゃった」というトラブルの原因を探ってみると、おしゃれ着を標準コースで洗ってしまったというパターンが多いのです。「ふだん着のつもりで買ったのに気軽に洗濯できないものだった」というのも、よく耳にします。

おしゃれ着かどうかは、洗濯表示タグを見るとわかります。すべての記号を覚えられなくても、まずは洗濯の仕方（洗い方）を表している桶のマークの意味が理解できればOK。桶に×がついていなければ、家庭で洗うことができます。桶の下の横棒が洗う時の水流の強さを表していて、**横棒が多いものほど力加減を弱く（弱水流で洗う）**という意味です。桶の中に手の絵が描いてあるものは、手洗いする必要がある衣類です。横棒付きと手洗い表示の衣類は慎重に扱う必要がある=おしゃれ着ということを覚えておくと安心です。右のミニコーナーでも解説しているので、そちらも参考にしてみてください。表示の見方がわかると、購入する時に見て用途に合うものなのか判断して選ぶことができるので、失敗が少なくなりますよ。

これから時期に着る秋冬物はデリケートな素材のものが多いので、自分で洗濯をするときに扱い方がわからない、この方法で大丈夫か心配という方は、アドバイスしますので気軽にご相談を◎デリケートなものはプロに任せたい！という方は、どうぞクリーニングをご利用くださいね。お気に入りをながく大切に着続けられるよう、できることをお手伝いさせていただきます。

営業案内（赤い日は休み）

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

OPEN*9:00-CLOSE*19:00

※11月3日(月) 9:00~17:00までの臨時営業
※休みや営業時間は変更になることがあります

素材料金・デザイン料金についてのご案内

時代の流れとともに新素材の登場や、異素材が組み合わさったもの、特殊なデザイン、ビッグシルエットの衣類が増え、ファッショントリックを取り巻く環境がかなり多様化してきました。これまで、デリケートな素材・扱いがむずかしい素材や、複雑・特殊なデザインのものについて一部のアイテムのみ素材料金・デザイン料金を追加で頂戴しておりましたが、11月1日(土)お預かり分より適用範囲を広げて対応させていただきます。クリーニングの基本料金の変更・値上げはありません。ご了承ください。



atelier blanc

アトリエ・ブランのワークショップ開催日が決定！日時は11月12日(水)14:00～16:00/11月23日(日)10:00～12:00です。参加費は1,500円/各回の定員は4名となります。初心者の方でも楽しめる、リネンを使った雑貨づくりです。詳しい内容は案内チラシやアトリエ・ブランのInstagramでご確認ください。